



○ インフルエンザ予防接種事業

昨年度から国民健康保険加入の高校生以下の被保険者に、予防接種費用の助成を行ってきたが、平成20年度から対象者を65歳未満の被保険者に拡充し、町民の健康の保持増進に努めます。

○ 乳幼児医療費助成事業

平成20年度から3歳以上の義務教育就学前の児童全員に対し、入院外医療がすべて無料になるよう町単独で自己負担額を助成することとして、今後も、福祉・保健・医療の充実に努め、住民サービスの向上に努めます。

○ 後期高齢者医療制度

公民館事業にあわせて説明会を開催するとともに、対象者全員にパンフレットを送付するなど、新制度への移行がスムーズに行えるよう、周知を図っています。



後期高齢者医療パンフレット

予算編成の基本方針と重点施策

平成20年度の地方財政は、地方税収入、地方交付税の原資となる国税収入の伸びの鈍化が懸念されることに加え、公債費が高い水準で推移することや社会保障関係経費の自然増などにより、依然として大幅な財源不足が生じるものと見込まれています。

このような状況の中、基礎自治体が住民の多様な要請に応えるためには、今後も、引き続き財政健全化に取り組むことが必要であり、国・地方とも行財政の簡素効率化を推進するとともに、国及び地方が適正な財政秩序を維持することが肝要です。

松前町の財政状況は、歳入では、大型商業施設の立地及び東レ株式会社愛媛工場の工場増設に伴う固定資産税の増収などの明るい材料があるものの、住民税収入の伸びの鈍化が懸念され、歳出では、10億円を超える公債費や右肩上がりで増え続ける特別会計への繰出金などが財政を圧迫し、依然、厳しい財政運営を強いられる状況です。

住民に最も身近な基礎自治体としては、このような厳しい財政状況の中であっても、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応していくことが求められています。

松前町の平成20年度予算編成では、町道筒井徳丸線新設事業が大詰めを迎えるなか、高齢者福祉を始め、各種扶助費の負担増が見込まれるため、一層厳しい財政運営が続くことを念頭に、

改革会議の基本方針をもとに、全職員が一丸となって行政改革に取り組む、第3次総合計画の実現に向けて「防災対策、消防・救急対策の充実」、「学校教育の充実」、「高齢者・児童・障害者福祉等の充実」、「環境衛生とリサイクル対策の充実」、「道路・交通網の整備」などに対し、重点的に予算配分を行うこととしています。



建設中の大型商業施設

以下、一般会計当初予算案の主要事業につきまして、総合計画における基本施策と関連させながら順次ご説明します。